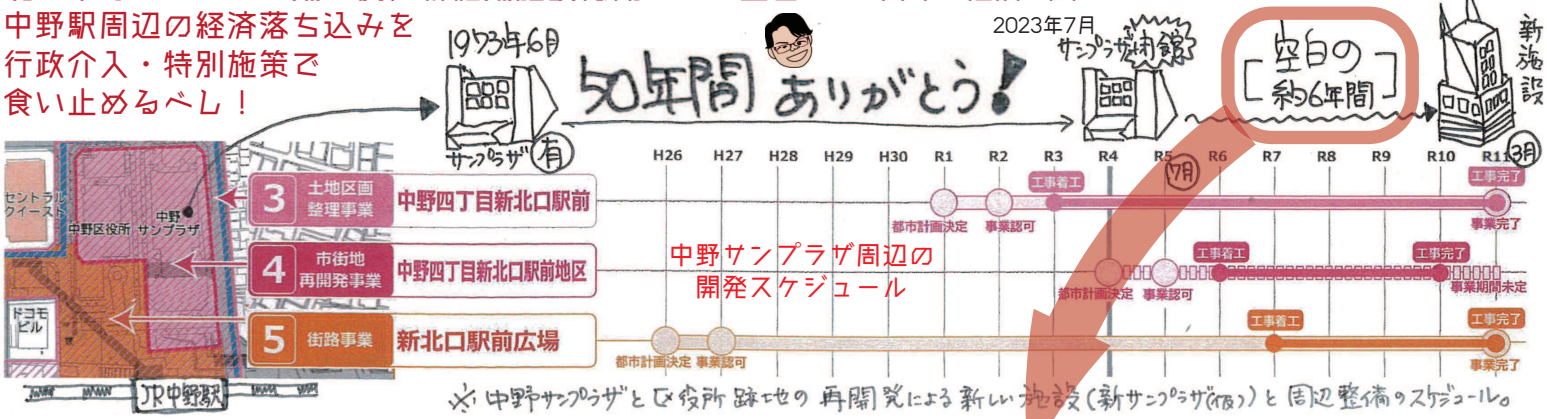
中野区議会 令和５年 第２回定例会 一般質問で提案した内容（一部）

現・中野サンプラザ無き後、新拠点施設稼働までの空白の６年間の経済対策はどうする？
中野駅周辺の経済落ち込みを行政介入・特別施策で食い止めるべし！



【JR中野駅周辺の消費の積み上げ】

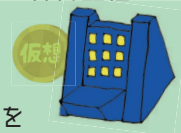
不定期	中野サンプラザ特需
平日＝中 祝日＝中	中野サンプラザでの定常的な消費
ほぼ休日	なかの ZERO 関連消費
平日＝小 祝日＝大	中野ブロードウェイでの定常的な消費および特需
ほぼ休日	屋外イベント・フェス・祭りでの特別な消費
平日＝大 祝日＝小	オフィスワーカー・学生定常的な消費
平日＝小 祝日＝大	周辺商店街の定常消費 ・一般的な飲食店利用 ・安定的な店舗利用
平日＝大 祝日＝小	居住区民の定常的な消費 ・通勤通学、日常消費 ・スーパーなどの消費

この部分の経済効果が【6年間】ほど無くなってしまう！
落ち込む経済のリカバリー対策を早急に打つ必要がある。

- アーティストジャンルが日替わり → 外国人歌手、アイドル、演歌、ポップス、オーケストラ…毎日違う層が中野に降り立つことで生まれる上乗せ経済。
- コンサートと近隣商店街がコラボ → 近隣商店街で当日のアーティストの楽曲を流しながら、関連グッズの特別販売やコラボ商品なども売り出すなど。
- アーティストが会場でレコメンド → コンサート中にアーティストが紹介した現地の食べ物や、好きなショップ、飲食店などが当日や後日、大人気に！

１つめの対策

ネット上（メタバース中野）にバーチャル中野サンプラザを配し、アーカイブした過去のコンサートを有料配信するほか、ステージも再現してさまざまな興行をネット上で行えるようコンテンツやシステムを整備する。今もある研修室などもバーチャル上に用意し、セミナー会場とするなど、ご当地ネット通貨も用意しつつ、リアルさながらの運営を行える環境を整備し、早期に運用を開始する。



２つめの対策

1000 人と 500 人の２つのホールを有する「なかの ZERO」の「中野サンプラザ」化を図り、毎日違ったジャンルのアーティストのライブができるようにするほか、近隣商店街や中野二丁目再開発ビル（仮称）とのコラボにより、経済循環を構築していくことで、落ち込む経済を少しでも回復させていく。

サイバー中野サンプラザが新たな経済圏を生み出しつつ、中野サンプラザの代役登場で、落ち込みを少しでも回復！

QRコードから質問内容全文が見られます！

商店街応援団・文化芸術マニア・DXスペシャリスト・地域活動紹介等

中野区のプロモーターとして

時には中野経済新聞の編集長として、時には中野区観光協会理事として、中野区の素晴らしさをメディアで情報発信しています。先日は明治大学国際日本学部の学生を引き連れ、中野駅周辺の歴史文化を案内しました。

セミナー講師やイベント MC も

各種法人に向けた情報収集と発信についてのセミナー開催や、オフィスワーカーイベントなどでは司会なども。先日は中野セントラルパークで働く従業員イベントの MC、東京土建開館でのセミナー講師を行いました。

メタバースや NFT を区政に

理事を務める中野コンテンツネットワーク協会ではメタバース上でネット会議を行っています。コンテンツの NFT 化や新しい働き方改革 DAO なども、日々研究しながら区政に生かせるかどうかを議論しています。

ゴミ拾い＆夜の地域パトロール

主に月曜日の朝には事務所周辺道路や囲桃園公園のゴミ拾いを実施。金曜日の夜８時からは桃園町会の防災防火部長として雨天荒天を除き、毎週拍子木を叩き商店街や桃園エリアの夜のパトロールを実施しています。